

2018年—2020年

シャロームの焦点と決意

三位の神は私たちを、平和、希望、愛の女性として、世界の心へ向かうようにと駆り立てます。福者マリア・テレジアとマザーメリーキャロラインの精神において、私たちシャローム国際ネットワークのメンバーは、会憲、総会指針「愛はすべてを与える」、カトリック社会教説に導かれて、次の事柄を決意します。

教育する

- カトリック社会教説、特に『ラウダート・シ』を学び続けます。

主張する

- 正義の構造を強化し、不正義の構造を変える努力を促進します。

行動する

- 平和のための祈りのセンターの働きを促進し、平和への祈りに参加する人の輪を広げる方法を見つけます。
- 共同体と今日の地球社会の中で、和解する愛を生き、証しすることに一層力を尽くします。

他者との協働において

- シャロームの中で、国連NGO事務所におい手、ネットワークづくりを強化します。
- 各地域で、国として、また国際的に、平和、正義、被造界の尊厳のために働いている他の人たちと協働します。
- 国連と教会のシャロームに関連する国際的記念日を続けて祝います。

いのちの尊厳のために

- 多文化共生を生きるために必要なあり方や技能を身に付けます。
- 特に移住者や難民、そして私たちの社会の中で差別されているすべての人の人権のために働きます。

そしてあらゆる被造物への配慮のために

- 統合的エコロジーを推進する活様式を選びます。
- 地域の環境にふさわしく、私たちの痛み苦しんでいる地球を助ける法制定を励ますような方法で、気候変動を和らげる決定をします。